

## 4. コラム — 産業保健相談員から —

### 『天災は忘れぬうちにやって来る』

岩手産業保健総合支援センター 産業保健相談員 大塚 尚寛

東日本大震災以降、日本国内では全国各地で大規模な地震が頻発したり、火山活動が活性化などの兆候が見られます。そのような中で、昨年4月14日に発生した熊本地震は、国内に2,000箇所以上あるといわれる活断層に起因する地震が、いつどこで起きても不思議でないことを改めて実感させるものでした。一方、地球温暖化に起因するとされる異常進路を取る台風の発生や、これまで経験したことのない大雨と称される豪雨が、わが国ばかりでなく世界各地で頻発しています。岩手県においても、昨年8月30日に襲来した台風10号による豪雨は、岩泉町を中心に甚大な被害をもたらしました。改めて言うまでもなく、日本は、地震、津波、台風、大雨、地滑りといった自然災害の多い国です。

ところで、『天災は忘れた頃にやって来る』という言葉は、東京帝国大学教授だった物理学者の寺田寅彦博士が、大正12年9月1日に発生した関東大震災後に、何かの雑誌に書いた警句として有名です。しかし、近年のわが国ばかりでなく世界各地で頻発する自然災害の発生状況をみると、『天災は忘れぬうちにやって来る』と言い直した方が良いようにさえ思います。地震や津波は人力では制御できない自然災害であり、その発生を防ぐことができないため、“災害に備える”ことが基本です。一方、地球温暖化の影響で起こっている異常気象や台風被害等の災害は、人類の生活・生産活動に伴って発生する二酸化炭素に代表される温暖化ガスの発生増加に起因することを考えると、人災と呼べるのかも知れません。これには、全世界的な共通認識を持って、地球温暖化防止を進めることが最大の対策といえるでしょう。

さて、同じ“災害”でも職場における労働災害の発生は、そのほとんどが人災といえます。特に、近年、次のような理由により、労働災害の発生が減少しない傾向にあります。

- ① 厳しい経営環境の中での安全衛生管理体制の劣化が懸念されていること。
- ② これまで現場を支えてきた団塊の世代の大量退職、非正規雇用の労働者の増加等により、安全衛生のノウハウがうまく伝承されていないこと。
- ③ 従業員の高齢化による労働災害が増加していること。
- ④ 若年者をはじめ経験が十分でない労働者に対して効果的な安全衛生教育が実施されていないこと。
- ⑤ 危険に対する感受性が低下してきていること。

「労働災害は忘れた頃にやって来る」ということはあってはならないことですし、ましてや「労働災害は忘れぬうちにやって来る」は、絶対にあってはならないことです。

近年の頻発する自然災害に対して“備える”意識が高まっている機運と同じく、職場における労働災害が決して発生しないように、日頃から①危険防止の措置、②健康管理の措置、③安全衛生管理体制の整備、④安全衛生教育の実施等に努めていただきたいと思います。

# 岩手産業保健総合支援センターだより

平成29年4月1日発行 No.29

平成29年度がスタートしました。

新入社員教育や雇入れ時の健康診断の実施など、産業保健スタッフの皆さまもお忙しいことと思います。

当センターも年々講師派遣依頼等が増加しております。特に、メンタルヘルス対策やハラスメント対策に関するお問い合わせが増加しております。また、「治療と就業の両立支援」対策も取り組みを強化する予定です。

4月から、当センターも幅広い御要望に対応すべく新体制でスタートしました。

平成29年度もよろしくお願ひいたします。

## INDEX

1.研修会の開催予定

2.研修会の様子

3.ご利用案内

4.コラム - 産業保健相談員から -

## 1. 研修会の開催予定

岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、衛生管理者、衛生推進者、健康管理担当者、産業看護職、人事労務管理担当者、管理職、事業主等の「産業保健スタッフ」の活動を支援するため、健康対策や労働衛生対策、メンタルヘルス対策等に関する研修会を開催しております。ぜひ、ご参加ください。

お申込み・お問合せは、当センターまで、電話019-621-5366/FAX 019-621-5367  
又はホームページ (<http://www.iwates.johas.go.jp/>) のメールフォームからどうぞ。

4月は都合により、研修会の開催予定はありません。

## 5月開催

| 日時、場所   | 研修テーマ等  | 実施内容  | 定員  |
|---|---|---|-----|
| 5月8日(月)<br>13:30~16:30<br>盛岡<br>アイーナ<br>811研修室  | <b>カウンセリング研修Ⅰ</b><br>テーマ：メンタルヘルスと職場のコミュニケーション<br>「人との交流を効果的にする方法」<br>講師：精神保健福祉士 産業カウンセラー 今松 明子 相談員  | 3回シリーズの1回目です。<br>コミュニケーションで交流を深めるにはどうしたら良いか研修します。         | 20名 |
| 5月9日(火)<br>13:30~16:30<br>盛岡<br>アイーナ<br>802会議室  | <b>衛生管理者等研修</b><br>テーマ：メンタルヘルス対策2「外部支援機関の活用」<br>①岩手県精神保健福祉センター<br>②岩手障害者職業センター  | メンタル不調等で休職している方の職場復帰対策などを行っている外部資源の活用について、ご説明いたします。       | 20名 |
| 5月18日(木)<br>13:30~16:30<br>盛岡<br>アイーナ<br>703会議室 | <b>衛生管理者等研修</b><br>テーマ：職場が今取り組む課題<br>①化学物質による中毒防止対策について<br>講師：岩手大学 理工学部 教授 大塚 尚寛 相談員<br>②過重労働者の面接指導後の対応について<br>講師：岩手県予防医学協会 産業健診部長 茂木 隆 相談員             | 化学物質対策・過重労働対策に関する研修を実施します。                                | 20名 |
| 5月24日(水)<br>13:30~16:30<br>盛岡<br>アイーナ<br>802会議室 | <b>衛生管理者等研修</b><br>テーマ：ストレスチェック対策<br>①就業規則等の見直し、整備<br>～ストレスチェック制度規定作成のポイント～<br>講師：社会保険労務士 佐々木 誠 相談員<br>②労働者のセルフケアの進め方について<br>講師：精神保健福祉士 臨床心理士 藤井 由里 相談員 | ストレスチェックの規定作成で悩んでいませんか。今回は、規定作成のポイント及びセルフケアの進め方について研修します。 | 20名 |

## 6月開催

| 日時、場所  | 研修テーマ等   | 実施内容   | 定員  |
|--|--|--|-----|
| 6月2日(金)<br>13:30~16:30<br>盛岡<br>アイーナ<br>810研修室   | <b>衛生管理者等研修</b><br>テーマ: 職業性疾病を防止するには 1<br>①腰痛の予防について<br>講師: 岩手県予防医学協会 立身 政信 相談員<br>②熱中症の現状と予防対策について<br>講師: 調整中 | 腰痛で困っている労働者はいませんか。熱中症対策はお済みですか。<br>職業性疾病対策について研修します。 | 20名 |
| 6月10日(土)<br>14:00~16:00<br>盛岡<br>岩手県医師会館<br>視聴覚室 | <b>産業医研修</b><br>テーマ: 職業性疾病対策<br>①騒音対策・粉じん対策について<br>②保護具の適正使用について<br>講師: 岩手県予防医学協会 健康推進部長 関向 和明 相談員             | <b>認定産業医限定研修となります。</b>                               | 30名 |
| 6月12日(月)<br>13:30~16:30<br>盛岡<br>アイーナ<br>802会議室  | <b>カウンセリング研修 I</b><br>テーマ: メンタルヘルスと職場のコミュニケーション<br>「コミュニケーションを阻害する原因を見つけよう」<br>講師: 精神保健福祉士 産業カウンセラー 今松 明子 相談員  | 3回シリーズの2回目です。<br>コミュニケーションを阻害する要因について研修します。          | 20名 |

(注) 研修については、実施内容、講師等について、予告することなく変更する場合があります。  
ホームページでご確認ください。

## 2. 研修会の様子



1月以降に開催した研修会の様子です。



産業看護職等研修(29. 1. 18)盛岡市  
休職対策 休職中の主治医との関わり方  
①復職と復職後の対応  
産業保健相談員 上田 均 先生  
による研修の様子です。

カウンセリング研修(29. 1. 30)盛岡市  
カウンセリング研修IV  
職場で使えるコミュニケーションスキル  
「傾聴」(その4)  
産業保健相談員 今松 明子 先生  
による研修。  
ワークの様子です。

衛生管理者等研修(29. 2. 10)盛岡市  
メンタルヘルス対策4 精神障害の対応2  
適応障害(うつ状態)、不安障害(社会不安障害)及び発達障害(ASDを中心に)  
産業保健相談員 青木 慎一郎 先生  
による研修の様子です。

## 3. ご利用案内

■ 「**岩手産業保健総合支援センター**」をご利用ください。

≫≫ 「**産業保健関係者に対する専門的研修**」を実施しております。

岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、産業看護職、衛生管理者等を対象として、産業保健に関する様々なテーマの研修を実施しています。

研修スケジュールにつきましては、当センターホームページ等でご確認ください。

≫≫ 「**個別訪問支援**」をお受けしております。(※無料です。謝金・交通費等は一切いただきません。)

メンタルヘルス対策や化学物質対策等の職場環境改善等について専門員が皆様の事業場に直接赴き、問題点について意見交換しながら、現場の状況に応じた改善方法等をアドバイスしております。

お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

≫≫ 「**治療と職業生活の両立支援**」をご利用ください。

「がん」などの長期治療が必要な労働者が、就労を継続するために必要なアドバイス等について、事業場・労働者に対する専門的相談や個別訪問支援を行います。

お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

岩手産業保健総合支援センター

電話 019-621-5366 / FAX 019-621-5367

URL <http://www.iwates.johas.go.jp/> E-mail iwate@iwates.johas.go.jp



■ 「**地域産業保健センター**」をご利用ください。

≫≫ 地域産業保健センターでは、労働者50人未満の事業場を対象に、健康相談、長時間労働者の面接指導、ストレスチェックの高ストレス者の面接指導を無料で行なっています。

また、健康対策等の御相談について直接事業場の状況を見ながら、改善のアドバイスも行なっています。

お問い合わせは、お近くの各地域産業保健センターまでお願いいたします。

### 【地域産業保健センター 一覧】

|                 |          |  |              |
|-----------------|----------|--|--------------|
| 盛岡地域産業保健センター    | 020-0013 | 盛岡市愛宕町 18-6 盛岡市医師会内                    | 019-654-2164 |
| 宮古地域産業保健センター    | 027-0061 | 宮古市西町 1-6-2 宮古医師会内                     | 0193-62-5880 |
| 釜石・遠野地域産業保健センター | 026-0034 | 釜石市中妻町 3-6-10 釜石医師会内                   | 0193-23-9966 |
| 花巻地域産業保健センター    | 025-0075 | 花巻市花巻町 3-3 渡邊花巻ビル 3階 花巻市医師会内           | 0198-22-3881 |
| 一関地域産業保健センター    | 021-0884 | 一関市大手町 3-40 (株) 岩手日報社一関支社ビル 5F 一関市医師会内 | 0191-23-5110 |
| 気仙地域産業保健センター    | 022-0003 | 大船渡市盛町字内ノ目 6-1 気仙医師会内                  | 0192-27-6700 |
| 二戸・久慈地域産業保健センター | 028-6101 | 二戸市福岡字八幡下 11-1 二戸市総合福祉センター 二戸医師会内      | 0195-23-4466 |